



## 平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名 旭硝子株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5201 URL <http://www.agc.com>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 石村 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 上田 敏裕

TEL 03-3218-5603

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	877,518	△4.2	73,868	△45.8	71,605	△47.5	44,867	△41.0
23年12月期第3四半期	915,653	△4.7	136,306	△19.7	136,291	△19.7	76,023	△30.5

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 67,065百万円 (224.2%) 23年12月期第3四半期 20,687百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	38.82	35.93
23年12月期第3四半期	65.21	60.43

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	1,782,463	892,277	47.2
23年12月期	1,691,556	850,460	47.7

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 841,999百万円 23年12月期 807,432百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	13.00	—	13.00	26.00
24年12月期	—	13.00	—		
24年12月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200,000	△1.2	100,000	△39.6	95,000	△43.0	50,000	△47.5	43.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	1,186,705,905 株	23年12月期	1,186,705,905 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	30,775,089 株	23年12月期	30,766,499 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	1,155,933,658 株	23年12月期3Q	1,165,747,526 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、補足資料を作成しており、当社ホームページに掲載しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ①2012年12月期第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間(2012年1月1日から2012年9月30日まで)における当社及び関係会社(以下、当社グループという)を取り巻く世界経済は緩やかな回復基調にあります。欧州の財政・金融問題の影響や新興国の輸出及び内需の拡大の鈍化により景気回復に減速感が見られました。

欧州においては、一部の国の財政危機の影響により高い失業率と個人消費の落ち込みが続き、景気は引き続き減速しました。アジアにおいては、中国では経済成長の鈍化が見られましたが、輸出と個人消費により景気は堅調に推移しました。日本においては、輸出が低調に推移したものの、東日本大震災以降、低迷していた個人消費が持ち直し景気は緩やかに回復しました。アメリカにおいては、住宅着工戸数は低い水準で推移しましたが、個人消費に支えられ景気は緩やかに回復しました。

このような環境の下、当社グループの製品の出荷は概ね増加しましたが、電子関連製品の価格下落や原燃材料の価格上昇により、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比381億円(4.2%)減の8,775億円、営業利益は同624億円(45.8%)減の739億円、経常利益は同647億円(47.5%)減の716億円、四半期純利益は同312億円(41.0%)減の449億円となりました。

#### ②2012年12月期第3四半期連結累計期間の報告セグメント別の概況

##### ○ガラス

建築用ガラスの出荷は、日本では震災影響を受けた前年同期に比べ増加し、アジアにおいても堅調に推移しました。欧州では西欧を中心に経済環境悪化の影響を受け、出荷は前年同期に比べ減少しました。また北米の出荷は引き続き低調に推移しました。ソーラー用ガラスの出荷は、市場成長の鈍化や競争環境の激化などにより、前年同期と比べ減少しました。これらの結果、建築用及びソーラー用ガラスを合わせた板ガラスは、前年同期と比べ減収となりました。

自動車用ガラスは、欧州では経済環境悪化の影響を受け自動車生産台数は前年同期に比べ減少したものの、当社の出荷は前年水準を維持しました。日本では震災影響を受けた前年同期に比べ自動車生産台数は増加し、アジア、北米においても堅調に推移したことから、それぞれ出荷は増加し、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果から、当第3四半期連結累計期間のガラスの売上高は前年同期比13億円(0.3%)増の4,176億円、営業損益は同91億円悪化し7億円の損失となりました。

##### ○電子

表示デバイス用ガラス基板の出荷は前年同期を上回りました。製品価格は第2四半期以降下落幅が大幅に緩和したものの、第1四半期の下落幅が大きかったことから、前年同期と比べ減収となりました。

電子部材は、オプトエレクトロニクス部材のうち携帯電話やデジタルカメラ向け製品の出荷は前年同期と比べ増加したものの、半導体関連製品などの出荷が減少したことから電子部材全体としては前年同期と比べ減収となりました。

以上の結果から、当第3四半期連結累計期間の電子の売上高は前年同期比480億円(16.0%)減の2,515億円、営業利益は同498億円(44.8%)減の612億円となりました。

##### ○化学品

クローラルカリ・ウレタンは、日本では震災影響を受けた前年同期に比べ出荷は回復し、またアジアでの出荷も引き続き堅調に推移したことから、前年同期と比べて増収となりました。フッ素・スペシャリティは、高機能フッ素樹脂や医薬農薬中間体・原体の出荷は堅調に推移したものの、欧州景気減速等の影響を受け一部製品の出荷が減少したことから、前年同期と比べ減収となりました。

以上の結果から、当第3四半期連結累計期間の化学品の売上高は前年同期比90億円(4.9%)増の1,916億円、営業利益は同10億円(7.4%)減の126億円となりました。

なお、各報告セグメントに属する主要な製品の種類は以下のとおりです。

報告セグメント	主要製品
ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E（低放射）ガラス、 建築用加工ガラス（断熱・遮熱複層ガラス、安全ガラス、防・耐火ガラス、防犯ガラス等）、 自動車用強化ガラス、自動車用合わせガラス、ソーラー用ガラス、産業用加工ガラス、 装飾ガラス等
電子	表示デバイス用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、 光学薄膜製品、オプトエレクトロニクス用部材、合成石英製品、ガラスフリット・ペースト、 半導体製造装置用部材、照明用製品等
化学品	塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、ガス、溶剤、フッ素樹脂、撥水撥油剤、 医農薬中間体・原体、ヨウ素製品、電池材料等

上記製品の他、当社は、セラミックス製品、物流・金融サービス等も扱っています。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ○総資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比909億円増の17,825億円となりました。これは主に、手元資金の増加に加え、連結範囲の変更や円安により有形固定資産等が増加したことによるものです。

### ○負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比491億円増の8,902億円となりました。これは主に、社債の償還等に備えるための借入により有利子負債が増加したことによるものです。

### ○純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度比418億円増の8,923億円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことに加え、円安により為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

(億円：千万単位四捨五入)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期(2012年12月期)	12,000	1,000	950	500
前期(2011年12月期)	12,147	1,657	1,667	953
増減率(%)	△1.2	△39.6	△43.0	△47.5

2012年の世界経済は、全体として緩やかな成長を持続する見込みであるものの不透明感が増しています。

このような環境のもと、建築用ガラスの出荷は、日本・アジアでは堅調に推移することが見込まれますが、北米では緩やかな回復にとどまる見込みであり、欧州では不透明な経済環境を反映して低調な出荷が継続する懸念があります。自動車用ガラスは、前期には東日本大震災やタイ洪水による影響を受けた出荷が回復したことや、新興市場での堅調な自動車需要が見込まれることから、出荷は前期に比較して増加する見込みです。ただし、足元では日本の自動車生産台数の減少などが見込まれており、その影響が懸念されます。ソーラー用ガラスは、市場成長の鈍化や競争環境の激化などにより出荷は軟調となる見込みです。

表示デバイス用ガラス基板の出荷は堅調に推移することが見込まれます。電子部材のうち半導体関連製品の需要は低迷するものの、オプトエレクトロニクス用部材のうち携帯電話やデジタルカメラ向け製品は出荷が引き続き堅調となる見込みです。

化学品関連製品の出荷については、クロールアルカリ・ウレタン製品や医農薬中間体・原体は引き続き堅調に推移するものの、フッ素樹脂や撥水撥油剤については、欧州景気減速などの影響を受け、軟調となる懸念があります。

なお、エネルギー価格の上昇が当社グループ全体の損益に一定の影響を及ぼす可能性があります。

このような状況を踏まえ、当社グループの2012年通期の売上高は前期比147億円（1.2%）減の12,000億円、営業利益は前期比657億円（39.6%）減の1,000億円、経常利益は前期比717億円（43.0%）減の950億円、当期純利益は前期比453億円（47.5%）減の500億円を予想しています。

なお、通期の平均為替レートは、対米ドル円為替レート80円、対ユーロ円為替レートを100円と想定しています。

《見通しに関する留意事項》

前述の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみで全面的に依存して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業領域をとりまく経済環境、市場の動向、為替レートなど様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 2009年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 2009年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	98,789	86,316
受取手形及び売掛金	233,675	236,230
有価証券	25,000	35,300
商品及び製品	81,860	89,402
仕掛品	42,541	44,784
原材料及び貯蔵品	69,922	73,675
その他	59,977	82,593
貸倒引当金	△4,993	△4,864
流動資産合計	606,774	643,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	523,917	540,748
減価償却累計額	△288,272	△294,874
建物及び構築物（純額）	235,645	245,873
機械装置及び運搬具	1,443,637	1,541,249
減価償却累計額	△1,020,838	△1,070,362
機械装置及び運搬具（純額）	422,798	470,886
その他	108,910	113,056
減価償却累計額	△89,039	△91,870
その他（純額）	19,871	21,186
土地	76,382	75,208
建設仮勘定	87,865	64,821
有形固定資産合計	842,563	877,978
無形固定資産		
のれん	15,721	27,400
その他	21,386	22,383
無形固定資産合計	37,108	49,784
投資その他の資産		
投資有価証券	148,350	157,572
その他	59,352	56,894
貸倒引当金	△2,592	△3,203
投資その他の資産合計	205,110	211,263
固定資産合計	1,084,781	1,139,025
資産合計	1,691,556	1,782,463

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	112,448	112,151
短期借入金	47,552	62,502
コマーシャル・ペーパー	13,369	15,125
1年内償還予定の社債	40,078	35,000
1年内償還予定の新株予約権付社債	50,000	50,000
未払法人税等	9,220	11,856
引当金	14,828	21,249
その他	131,910	114,801
流動負債合計	419,410	422,687
固定負債		
社債	92,014	72,004
新株予約権付社債	50,000	50,000
長期借入金	184,485	247,712
退職給付引当金	58,591	58,828
その他の引当金	10,192	10,822
その他	26,401	28,130
固定負債合計	421,684	467,498
負債合計	841,095	890,185
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	90,873	90,873
資本剰余金	96,961	96,961
利益剰余金	812,533	827,344
自己株式	△29,888	△29,884
株主資本合計	970,480	985,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,910	26,223
繰延ヘッジ損益	47	503
為替換算調整勘定	△183,005	△170,023
その他の包括利益累計額合計	△163,047	△143,295
新株予約権	1,584	1,852
少数株主持分	41,444	48,425
純資産合計	850,460	892,277
負債純資産合計	1,691,556	1,782,463



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年1月1日 至 2011年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年9月30日)
売上高	915,653	877,518
売上原価	611,324	635,824
売上総利益	304,329	241,694
販売費及び一般管理費	168,022	167,825
営業利益	136,306	73,868
営業外収益		
受取利息	1,019	994
受取配当金	1,883	1,762
為替差益	1,338	—
持分法による投資利益	1,317	1,130
その他	1,124	1,204
営業外収益合計	6,682	5,091
営業外費用		
支払利息	4,489	4,541
為替差損	—	770
その他	2,208	2,042
営業外費用合計	6,698	7,354
経常利益	136,291	71,605
特別利益		
固定資産売却益	1,698	1,556
投資有価証券売却益	101	—
受取保険金	—	10,651
その他	372	1,090
特別利益合計	2,171	13,298
特別損失		
固定資産除却損	2,952	5,441
減損損失	—	1,213
災害による損失	6,163	—
事業構造改善費用	8,548	8,363
その他	5,766	3,215
特別損失合計	23,430	18,234
税金等調整前四半期純利益	115,032	66,669
法人税等	35,494	18,752
少数株主損益調整前四半期純利益	79,537	47,916
少数株主利益	3,514	3,049
四半期純利益	76,023	44,867

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年1月1日 至 2011年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	79,537	47,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,471	6,312
繰延ヘッジ損益	218	456
為替換算調整勘定	△41,997	12,191
持分法適用会社に対する持分相当額	△600	188
その他の包括利益合計	△58,849	19,148
四半期包括利益	20,687	67,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,469	64,619
少数株主に係る四半期包括利益	2,218	2,446

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2011年1月1日 至 2011年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス	電子	化学品				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	415,710	298,232	180,185	21,525	915,653	-	915,653
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	621	1,197	2,442	37,915	42,177	(42,177)	-
計	416,331	299,429	182,628	59,441	957,831	(42,177)	915,653
セグメント利益 (営業利益)	8,479	110,943	13,647	3,081	136,152	154	136,306

注 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セラミックス製品等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額154百万円には、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等が含まれております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2012年1月1日 至 2012年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス	電子	化学品				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	416,170	250,081	189,265	22,000	877,518	-	877,518
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,473	1,376	2,325	43,105	48,280	(48,280)	-
計	417,644	251,458	191,591	65,105	925,799	(48,280)	877,518
セグメント利益又は 損失(△) (営業利益)	△664	61,193	12,634	853	74,016	(147)	73,868

注 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セラミックス製品等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△147百万円には、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等が含まれております。